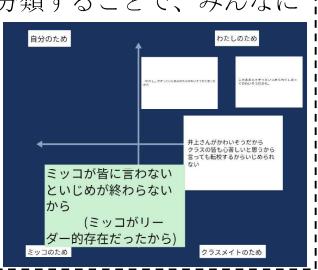


## ねらい

自分の好き嫌いで態度を変えたり、判断・行動したりしてしまう心の弱さに気付き、その弱さがいじめを生んでしまうことを理解することで、誰に対しても、公正・公平に接し、正義を実現しようとする実践意欲を高める。

## タブレットを活用した授業の流れ

	主な学習活動	タブレットの活用場面
導入	<p>1 これまでの経験を振り返る。 自分の好き嫌いで態度や行動を変えてしまった経験を想起させる。</p> <p>2 本時の学習のめあてをつかむ。 誰に対しても公平に接するには、どんな心が大切だろう。</p>	 <p>ロイロノート（アンケート機能）        • 事前にアンケートを作成し、回答の集計結果を表示する。        • 公平に接することができなかつた経験を想起することで、誰にでも心の弱さがあることを自覚することができるようになる。</p>
展開	<p>3 教材文を読み、わたしを中心にそれぞれの立場について話し合う。</p> <p>(1) それぞれの登場人物について思うことを話し合う。        -わたし かわいそう        -ミッコ ひどい。        -吉野さん えらい。勇気がある。        -クラスメイト 見ているだけ。</p> <p>(2) 自分だったらどの立場だと思うか考える。        -自分が仲間はずれにされるのが怖いからクラスメイトかな。        -少しあんとかしなきやと思うから吉野さんに近いな。</p>	 <p>ロイロノート（テキストカード）        • 自分だったらどの立場だと思うかを理由付きで色分けして、テキストカードに書く。その後、自分とは異なる色を提示した児童を中心に交流する。</p> 
終末	<p>4 公正・公平な心について話し合う。</p> <p>(1) 吉野さんはなぜ発言したのだろう。        -誰かが言わなきやと思ったから。        -わたしがかわいそだから。</p> <p>(2) 吉野さんの発言をわたしやクラスメイトはどう思つただろう。        -ありがとう。吉野さん。        -本当にごめんなさい。吉野さんの言うとおりだ。</p> <p>(3) 誰に対しても公平に接するには、どんな心が大切だろう。</p> <p>5 自分なりのまとめをする。</p> <p>6 学習したことを振り返り、感じたことや考えたことを交流する。</p>	 <p>ロイロノート        (シンキングツール：座標軸)        • 吉野さんの発言の理由を書き、「自分のため」「井上さん（わたし）のため」「杉田さん（ミッコ）のため」「クラスメイトのため」に分類することで、みんなにとって公平な発言であったことに気付くことができるようになる。</p> 



## ロイロノート（テキストカード）



テキストカードを使って色分けすることで、自分と同じ考え方、ちがう考えが一目で分かり、多様な意見の交流に有効である。



## シンキングツール（座標軸）



書いた意見をグループで共有し、座標軸を使って分類することで、吉野さんの発言の意図を多面的・多角的に捉えることができる。

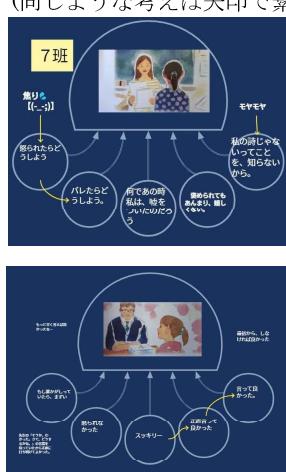
# 小学校 実践例 小5

教材名 「のりづけされた詩」  
内容項目 正直、誠実

## ねらい

本にある詩を写して自分の詩として提出してしまった和枝が、先生に打ち明けたときの気持ちを捉えることから、誠実に明るい心で生活しようとする心情を育てる。

## タブレットを活用した授業の流れ

	主な学習活動	タブレットの活用場面						
導入	<p>1 これまでの経験を振り返る。 失敗したり間違つてしまったりしたときに、そのことをだまっていた経験を聞く。</p> <p>2 本時の学習のめあてをつかむ。 つい間違つたことをしたときにはどういう気持ちが大切だろうか。</p>	 <p>ロイロノート（アンケート機能） 自分の経験を振り返る画面で、アンケート機能を活用して、めあてへ焦点化させる。</p> <table border="1"> <tr> <td>間違もある</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>たまにある</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>一度もない</td> <td>8</td> </tr> </table>	間違もある	9	たまにある	22	一度もない	8
間違もある	9							
たまにある	22							
一度もない	8							
展開	<p>3 教材文を読み、和枝の心情について話し合う。</p> <p>(1) 詩を書き写してしまったときの気持ちを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>間に合わない。</li> <li>いいものを出したい。</li> <li>全部写すわけではない。</li> </ul> <p>(2) 「さすが和枝さん」と言われたときの気持ちを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本当にこの今までいいのか。</li> <li>よくないことはわかるけど、言えない。</li> </ul> <p>(3) どんな思いで先生に打ち明けたのかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>このままだとずっと嘘をつくことになる。</li> <li>先生に叱られるかもしれないけれど、ちゃんと話そう。</li> </ul> <p>4 自分にも相手にも誠実にしてよかったですを発表する。</p>	 <p>ロイロノート（シンキングツール「クラゲチャート」） 共有ノートを利用し、グループで友達の考えを共有させる。その後似ている考え方、違う考え方をグループで話し合い、整理・分類させる。(同じような考えは矢印で繋げて分類させる。)</p>  <p>和江さんに自我関与させて、気持ちを多面的・多角的に考えさせた。複数の理由を考えるために、クラゲチャートを活用したことで、一面的な見方にとどまらずに異なる視点から考えることにつながっていた。</p>						
終末	<p>5 授業を振り返る。</p>	<p>これからも自分に正直でありたいという気持ちをもたせるために、和枝と同じような経験を振り返らせる。</p> <p>本時を振り返り、ノートに記入する。</p>						



### ロイロノート（アンケート機能）



アンケート機能は操作が簡単であるうえ、集計結果がすぐに見られるため、子どもたちそれぞれが「問い合わせ」をもつことができる。そのため、めあての焦点化しやすい。



### シンキングツール（クラゲチャート）

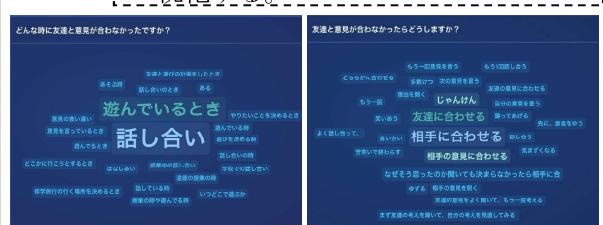
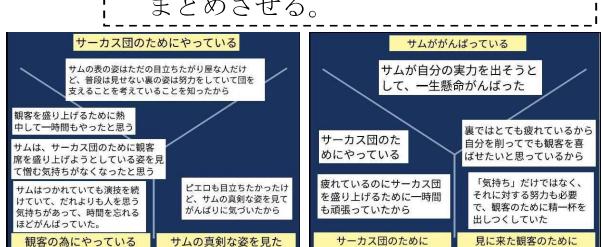


クラゲチャートを使い、和枝さんの揺れ動く気持ちを考えさせることで、一面的な見方から多面的・多角的な見方へと広げることができた。視点を変えて考えさせるためにとても有効である。

## ねらい

サムを憎む気持ちが消え、穏やかにサムを見つめるピエロの気持ちを考えることで、自分と異なる考え方や意見を尊重し、大切にしていこうとする態度を養う。

## タブレットを活用した授業の流れ

	主な学習活動	タブレットの活用場面
導入	<p>1 友達と自分の意見が合わなかった経験について話し合う。      2 本時の学習のめあてをつかむ。      相手と考えが合わなかったとき、どんな考えをもつことが大切だろう。</p>	<p><b>アンケート機能</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>友達と意見が合わなかった経験についてアンケートを事前に取る。</li> <li>オンライン上のワードクラウド機能を活用して、アンケート結果を可視化する。</li> </ul> 
展開	<p>3 教材文を読み、主人公の思いについて話し合う。      (1) サムが演技をしている様子をピエロはどのような気持ちで見ていったか考える。      (2) ピエロの気持ちからサムを憎む気持ちが消えたのはどんな考えが出てきたか考える。</p> <p><b>相手を理解した</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>サムも努力して一生懸命に演技していた。</li> <li>サムのおかげでサーカスは盛り上がった。</li> <li>サムはサーカスのために頑張っている。</li> </ul> <p><b>自分を見つめ直す</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分勝手な気持ちは自分にもあったかも。</li> <li>自分の思いを伝えられてスッキリした。</li> <li>一方的にサムを責めた自分も悪かった。</li> </ul> <p><b>全体のことを考える</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>サムと力を合わせればもっとサーカスは良くなる。</li> <li>みんながいるからサーカスは成り立つ。</li> </ul> <p>(3) ピエロの手をゆっくり取り、固く握手を交わしたサムは、どんな思いだったのか考える。</p>	<p><b>ロイロノート (生徒間通信)</b> (シンキングツール: Yチャート)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ピエロの気持ちからサムを憎む気持ちが消えたのはどんな考えが出てきたのかをノートにまとめさせ、「生徒間通信」を活用してグループで考えを共有する。</li> <li>話し合いをしながらYチャートを用いて、自分たちで考えを分類して、まとめさせる。</li> </ul> 
終末	<p>4 今日の学習で考えたことや、これから自分ができそうなことをワークシートにまとめる。</p>	<p><b>ロイロノート (提出箱、カメラ機能)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本時を振り返り、ノートに記入したものをカメラ機能で撮り、提出箱に提出させ、全体で共有していく。</li> </ul>



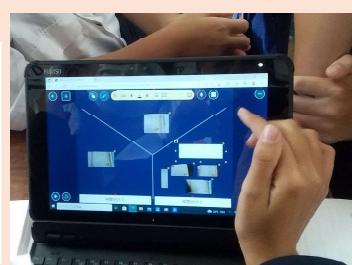
## ロイロノート(生徒間通信)

生徒間通信を利用し、自分の考えをグループ内で送り、共有することができる。共有ノートに比べてグループ活動で取り入れやすい。



## シンキングツール(Yチャート)

Yチャートは、考えを多面的に見たり分類したりすることを助けてくれる良さがある。さらに、視点を自分たちで設定し、分類することができる。



## ねらい

大劇場のステージに立てるチャンスを断り、男の子との約束を守った手品師の誠実さに触れることで、どのような状況にあっても、常に誠実に行動し、明るい生活をしようとする心情を育てる。

## タブレットを活用した授業の流れ

	主な学習活動	タブレットの活用場面
導入	<p>1 「誠実」について確認する。 2 あらすじを伝え、自分ならどちらを選択するか考える。 3 本時の学習のめあてをつかむ。 「誠実に生きる」とはどのように生きることだろう。</p>	<b>ロイロノート（アンケート機能）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>事前に作成した質問を子どものタブレットに表示させる。</li> <li>回答の集計結果をすべてのタブレットに表示させる。</li> </ul> ※ 話し合った後と比較させる為に結果を出させる。 
展開	<p>4 教材文を読み、主人公の思いについて話し合う。</p> <p>(1) 迷いに迷った手品師がどうするか考える。</p> <p>○絶対に大劇場へ行く ○大劇場へ行く ○男の子の所へ行く ○絶対に男の子の所へ行く</p> <p>4つの立場の中から選択し、理由をノートに書く。</p> <p>(2) 迷いに迷った手品師の気持ちについてグループで話し合う。</p> <p>各自どうしてその立場を選択したのか理由を言いながら意見を出す。</p> <p>(3) 話合いを終えて自分ならどう行動するか考える。</p> <p>5 主人公がとった行動から誠実に生きることについて考える。</p> <p>どちらの行為も誠実な対応であることを確認する。</p>	<b>ロイロノート（シンキングツール：バタフライチャート）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分が手品師だったらどうするか4つの立場の中から選択させる。</li> <li>話し合う前の自分の立場を緑色のカードで明確にさせる。</li> </ul>
終末	<p>6 授業を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>相手や自分のことを考える。</li> <li>約束を守ることも、自分の気持ちに正直になることも誠実。</li> </ul>	<b>ロイロノート（シンキングツール：バタフライチャート）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>話合いを終えて、自分の考えを整理した上で、自分の立場をピンクのカードで明確にさせる。</li> <li>主人公がとった行動である男の子との約束を守ったことだけが誠実ではなく、大劇場を選択したことでも誠実であるにつなげたい。</li> </ul> ※ 導入でとったアンケート結果も活用。 


ロイロノート（アンケート機能）

アンケート機能は操作が簡単であることと、回答内容が他者に知られないことから思ったことや感じたことを回答しやすい。このことから学習の導入で活用しやすい。

10	28
	
大劇場へ行く	男の子の所へ行く


シンキングツール（バタフライチャート）

バタフライチャートは、話し合いの前と後での立場の変化を視覚的に見ることができる良さがある。本時で使用した教材は、葛藤が生じる教材であるため、バタフライチャートが有効である。